

3Rを重視したモノづくり

ガラスびんの軽量化

Reduce
リデュース

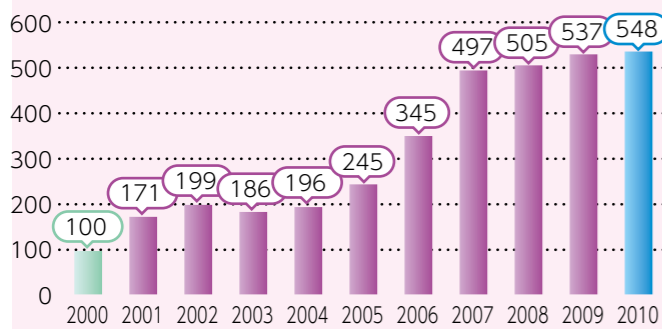
当社はリデュース（発生抑制）につながるガラスびんの軽量化を積極的に推進しています。

一般びんを始め、各お客様独自の製品にも“超軽量びん”（日本ガラスびん協会の定める規格）が採用され、使用原料・燃料の節減、CO₂排出量削減に効果をあげています。



日本ガラスびん協会認定 “超軽量びん” シンボルマーク 従来びん、超軽量びん

当社の売上本数指数(%) 超軽量びん



* 2000年度を100とする



PETボトル・キャップの軽量化

Reduce
リデュース

プラスチックカンパニーでは継続的に製品の軽量化に取り組んでいます。2010年は、アセプティック充填*用のワンピースプラスチックキャップの軽量化に取り組み、従来より重量比で15%軽くすることに成功しました。もちろん、キャップに必要なとされる性能は従来のキャップと同等の性能を有しており、2011年1月より生産を開始しています。

その他のキャップやペットボトルについても、現在軽量化を進めており、随時、製品化してまいります。



*アセプティック充填とは、容器・内容液を個別殺菌後、無菌室で充填する方法のことです。

Rマークびん

Reuse
リユース

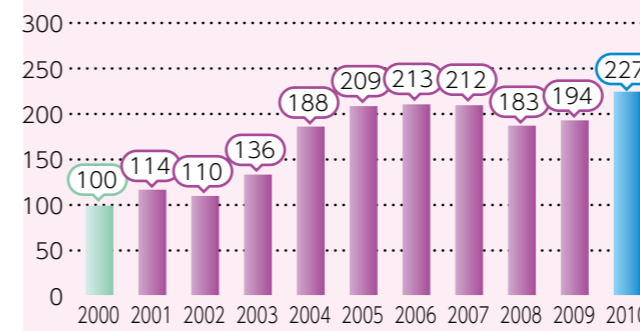
リターナブルびんは、リユース（再使用）に適した包装容器です。ゴミの減量化や資源の節減に寄与する“Rマークびん”は、日本ガラスびん協会の規格統一リターナブルびんとして、さまざまな業界や団体にご利用いただいています。



日本ガラスびん協会認定 “Rマークびん” シンボルマーク



当社の売上本数指数(%) Rマークびん



* 2000年度を100とする

エコロジーボトル

Recycle
リサイクル

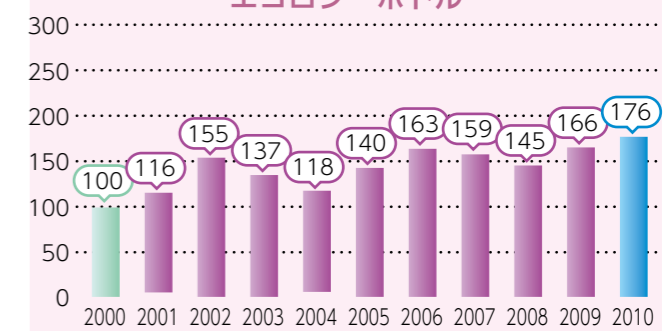
日本ガラスびん協会が定める“エコロジーボトル”は、カレットを90%以上使用して製品化したものです。環境にやさしい“びんtoびん”リサイクルへのご理解をいただき、広くご利用いただいています。



日本ガラスびん協会認定 “エコロジーボトル” シンボルマーク



当社の売上本数指数(%) エコロジーボトル



* 2000年度を100とする

3Rを重視したモノづくり

TENキャップ

TENキャップはTamper Evidence(いたずら防止)機能に優れたプラスチックキャップです。当社独自開発によるバンド+パッキン構造によって、一度開栓するとバンドが切断され、外気が侵入することで開封の確認ができるため、店頭でのいたずら防止に大きな効果を発揮しています。

また、キャップに装着されているパッキン(接液部)は着色剤やスリップ剤などを一切添加していないポリエチレン樹脂で成形されているため、商品(内容物)の風味を損なうことなく、またリサイクルにも適し、さらに、開栓時の抵抗(トルク)も低く、女性や子ども、年配の方、体の不自由な方などにも開栓しやすいキャップになっています。



リサイクル関連機器

エンジニアリングカンパニーでは、事業領域を環境事業に拡張し、各種リサイクル関連機器を取り扱っています。2006年には、PE(ポリエチレン)、PP(ポリプロピレン)の再生ペレット製造装置を販売し、お客様先での産業廃棄物削減を具現化しました。

また、一方では、クラッシャーで廃プラスチックを粉砕し、体積を減少させることにより保管スペースの削減と車両積載の効率化を実現しました。

その他にも、再生樹脂原料を混合する高速ミキサーなど、幅広い取扱い商品で、環境関連事業を推進しています。



クラッシャー



高速ミキサー

プレタックラベル

装飾性の高いプレタックラベルは、従来のACL(ガラスびんへの印刷)に比べ、色数が豊富で美しく表現できると共に、無色透明びんへのリサイクルにも適しています。現在では、家庭での分別破棄を容易にする、易剥離性技術*の開発にも取り組んでいます。

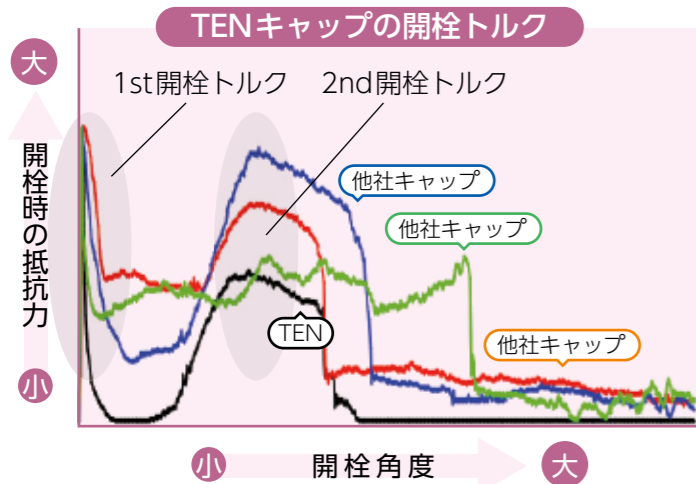
いはくり
*易剥離性技術とは、ラベルを簡単にはがすことができる技術を言います。



無鉛材料などの開発推進

大画面ディスプレイ分野の主役の一つであるプラズマテレビ(以下PDP)において、ニューガラスカンパニーでは、いち早くPDP用ガラスの無鉛化に着手し、現在ではPDP構造部材の中核である隔壁や誘電体用に無鉛ガラスを供給しています。

また、省エネルギーやCO₂削減の観点から注目されている、LED照明や太陽電池向けなどの部材に使われるガラスについても、完全無鉛化に向けた研究開発を推進しています。



環境ポスターによる従業員への啓発

環境活動に対する従業員一人ひとりの意識向上のため、環境標語を募集・選考し優秀作品を環境ポスターに掲載しています。今回で10回目となり、1,084件の応募がありました。年々応募数が増えており、従業員の環境に対する意識が高まっています。

